

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 28 年 11 月 21 日（月）

## ◎項 目

- 1 平成 29 年度当初予算の見積状況について【総務部】
- 2 財政課査定における留意事項について【総務部】
- 3 議員からの提案等の情報について【総務部】
- 4 その他

## ◎内 容

### 1 平成 29 年度当初予算の見積状況について【総務部】

総務部より、資料を配付のうえ、平成 29 年度当初予算の見積状況について説明と再調整依頼があった。

（総務部）

平成 29 年度当初予算見積状況については、現段階において財源不足額が想定よりも大幅に超過している状況である。

予算フレームに収めるべく、予算見積限度額の例外となる限り経費を圧縮するための見直しを依頼していたが、結果的に、各部局等からの見積は、課題解決先進枠が少なく、限り経費が当初の我々の見立てより約 120 億円多くなっている。この数字を見る限り、予算編成方針であるスクラップアンドビルドが浸透していないのではないかと考えざるを得ない。

については、限り経費について、各部局長のリーダーシップのもと議論していただき、再度スクラップアンドビルドの視点から精査していただきたい。

（副知事）

予算調整責任者である副部長が、限り経費に該当するのかを直接確認し、部局長と相談のうえ、廃止する事業も含め必要な見直しを早急に行っていただきたい

### 2 財政課査定における留意事項について【総務部】

総務部より、財政課査定における留意事項について依頼があった。

（総務部）

予算査定における財政課ヒアリングにあたっては、事業等の新規・継続に関わらず、経緯、重要事項など漏れなく説明するとともに、説明資料は簡潔明瞭に最小限の資料を提出するようお願いする。

### 3 議員からの提案等の情報について【総務部】

総務部より、議員からの提案等の情報について補足説明が行われた。

#### 4 その他

##### ○ 決算特別委員会における報告漏れについて

総務部より、決算特別委員会における報告漏れについて情報共有があった。

(総務部)

今回の決算特別委員会において、前回決算審査意見に対する措置状況について報告がなされなかった事案があった。

原因として、決算審査報告書の内容が限定された職員にしか伝わっていなかったことが考えられるので、全員が共有できるような改善策を考えていきたい。

##### ○ チェック機能の強化について

総務部より、県庁におけるチェック機能の強化について依頼があった。

(総務部)

最近、文書等のチェックや県政記者に対する情報提供の漏れなど以前では考えられないミスが発生している。各部局等において事務の改善を検討していただきたい。

(副知事)

普通では考えられないミスが発生しており、組織としては致命的なこと。情報を広く共有し、チェック体制を整え、決裁の際には、想像以上の間違いもあるという意識で確認をしてほしい。

(水産振興部)

中堅の職員が少なくなっていることから、以前は徹底されていたチェックが、職員全体に伝わっていないのではないのか。研修などにより、チェック機能の強化について補完することができないか。

(副知事)

中間層の職員数が少ない現実をもって乗り越えるべき。ミスが起きない仕組みづくりについて考えていただきたい。

(地域福祉部)

制度の内容を身につけていない職員がいる。制度を勉強することは自分の身を守ることでもあることを理解してもらわなければならない。

(副知事)

副部長には、補佐や課長を集めてこういう事例があったと情報共有していただくとともに、嫌われ役になって注意をしていただきたい。

(総務部)

ミスがあった際には上に報告するなど、悪い情報ほど早く知事、副知事に伝える姿勢を徹底していただくようお願いする。

##### ○ 高知家ビジネスプランコンテスト2016について

産学官民連携センターより、高知家ビジネスプランコンテストのチラシを配付のうえ、プラン募集のお知らせがあった。